

平成31年度 子ども読書活動推進の取組

No.	計画の体系 における番号	計画 ページ	計画の実現に向けた取組	平成30年度取組の実績と課題等	平成30年度 取組区分	平成31年度取組内容等	平成31年度 取組区分	担当課	
【基本方針Ⅰ】 子どもの読書機会の提供・充実と読書環境の整備・充実									
1	(1)	①	P31	<p>【ブックスタート事業】 保護者に絵本を介した親子のふれあいについて伝えます。絵本の紹介や読み聞かせ、市立図書館の利用案内の配付等を行い、保護者への啓発を行います。</p>	<p>月3回行われる4か月児健康診査において、中央図書館と連携し、絵本の無料配布や読み聞かせなどを行い、こどものブックスタートの大きなきっかけになったと考えられます。引き続き、中央図書館と連携し、啓発に取り組んでいきます。</p>	継続	中央図書館と連携し、4か月児健康診査の中でブックスタートのきっかけになる場を設け、引き続き啓発に取り組めます。	継続	保健医療課
				<p>4か月児健康診査時のブックスタートで、絵本を手渡すとともに、絵本を介した親子の触れ合いについて図書館職員が啓発を行いました。また健診の待ち時間を利用して、おはなし会ボランティアが、乳幼児と保護者に絵本の読み聞かせを行いました。 実施回数：36回、絵本配付数：2,516冊</p>	継続	4か月児健康診査時のブックスタートで絵本を手渡すとともに、絵本を介した親子の触れ合いについて図書館職員が啓発を行います。健診の待ち時間を利用して、おはなし会ボランティアが、乳幼児と保護者に絵本の読み聞かせを行います。	継続	中央図書館	
2	(1)	①	P31	<p>【子どもの読書に関する相談】 新刊や季節の本の案内、調べ物の支援等、家庭における読書活動を支援します。</p>	<p>新しく入った紙芝居や大型絵本、中国語の絵本リストを作成し、図書館ホームページに公開しました。リストは印刷して書架に置き、利用者から問い合わせがあった際に案内しました。季節や行事ごとの特集コーナーを設置し、本のリストを図書館ホームページに公開しました。ホームページの「子ども向け調べものリンク集」を見直し、調べものに活用できるサイトを新たに追加しました。</p>	継続	引き続き、問い合わせの多いテーマなど、レファレンス対応がスムーズにできるよう本のリストを作成します。作成したリストは職員間で共有するとともに、利用者の手に取りやすい場所に配置するなど、活用されるように工夫します。新刊や季節の本以外にも、関係課と連携し、多様なテーマの特集を行います。ホームページに掲載している情報についても、随時見直しを行い、更新します。	継続	中央図書館
3	(1)	①	P31	<p>【家庭での読書活動の啓発】 家庭における読書活動の役割について、保護者への啓発に努めます。</p>	<p>絵本の読み聞かせの方法などがわからない保護者が多く、絵本の読み聞かせ方法や絵本を通じた接し方などを伝える機会となり、家庭での読書活動を行うきっかけになったと考えられます。</p>	継続	乳幼児健康診査、家庭訪問等において、年齢に応じた読み聞かせ方法や絵本の使い方について伝え、家庭での読書活動のきっかけづくりとなるよう引き続き取り組んでいきます。	継続	保健医療課
4	(1)	①	P31	<p>【家庭での読書活動の啓発】 絵本だよりを配付することで、保護者が本を選びやすくなるように図書館の情報提供に努めます。</p>	<p>ブックリスト等を通じた情報提供により、保護者自身が知らない絵本に関心を示すことで、子どもの絵本の選択肢が広がっていったと考えられます。また、保護者が各歳児に適切な絵本を選ぶことで、子どもが絵本をより好きになる環境づくりに繋がったと考えられます。</p>	継続	ブックリストの活用や文書の発行、掲示物の工夫などを通して、保護者へ読み聞かせの大切さや楽しさを伝えます。また、引き続き子どもの興味や関心が高い絵本等の情報提供を実施します。	継続	保育幼稚園総務課
5	(1)	①	P31	<p>【家庭での読書活動の啓発】 学校だよりの図書館だよりで読書についての記事を掲載します。読書感想文を夏休みの宿題にすることで、家庭での読書を推進するよう指導しています。</p>	<p>学校図書館貸出冊数は年間520,119冊（平成29年度531,704冊、平成28年度462,634冊）でした。一方、平成28・29・30年度の全国学力・学習状況調査の経年比較では「授業時間以外に読書を全くしない」と答えた本市小学6年生は21.8%→22.3%→22.5%、中学3年生は35.7%→35.9%→33.5%でした。中学校では改善傾向ですが、小学校で年々割合が増加していることが課題であるといえます。</p>	継続	学校だよりの活用、読書感想文や読書感想画の取組みを通して、家庭での読書を推進するよう指導します。「図書館を使った調べる学習コンクール」を活用し、調べ学習で図書を活用することを周知します。	継続	学校教育推進課
6	(1)	①	P31	<p>【家庭での読書活動の啓発】 ブックリストを作成し配付します。読み聞かせの方法や本の選び方の参考となるような講演会や講座を開催し、保護者への働きかけに努めます。</p>	<p>ブックリスト「おもしろい本みつたえ」を年2回作成し、市内の学校・園・その他子育て関連施設に配付しました。発行部数：80,000部</p> <p>親子で参加できる読み聞かせ講座、読書感想文の書き方講座、大人を対象にした子どもの本の読書講座を、各図書館で開催しました。 読み聞かせ講座 開催回数：2回、参加者数：85人 子どもの本の読書講座 開催回数：3回、参加者数：100人 読書感想文の書き方講座 開催回数：2回 参加者数：104人</p> <p>中央図書館と分館で、利用者が家で読まなくなった本を持ち寄り、メッセージとともに交換する「こどもの本交換会」を開催しました。開催回数：8回 参加者数：205人</p> <p>中央図書館では、親子向けに「ふれあう絵本ひろば」を開催し、絵本の紹介などを行いました。参加者数：47人</p>	拡充	年2回ブックリスト「おもしろい本みつたえ」を作成し、市内の保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・その他子育て関連施設に配付します。親子で参加できる読み聞かせ講座を2回、大人を対象にした子どもの本の読書講座を3回、各図書館で開催します。読書感想文の書き方講座は、分館で4回開催します。	拡充	中央図書館
7	(1)	②	P32	<p>【保育所・幼稚園における読書の習慣化への取組】 年齢に応じたおはなしや絵本、紙芝居等を取り入れた保育を行うほか、絵本だよりの配付や本の貸出を通じて、家庭への情報提供や読書の習慣化を図ります。</p>	<p>読み聞かせを継続的に実施することで、子どももその時間を楽しみにしています。絵本の貸し出しについては各保育所・幼稚園の実情によって回数は異なりますが、家庭において親子で絵本に触れる楽しさを実感してもらうことを目的に実施しています。しかし、家庭において保護者自身が楽しんで読み聞かせておられるところ、子どもだけで読んでいるところなどの差がみられるところもあるようです。</p>	継続	保育所、幼稚園において子どもへの読み聞かせを実施します。（1日1冊以上）絵本の貸し出しを実施し、家庭において親子で楽しむ機会を啓発します。	継続	保育幼稚園総務課
8	(1)	②	P32	<p>【小・中学校における読書の習慣化への取組】 司書教諭・学校図書館支援員・学校図書館ボランティアが連携し、学校図書館を活用した取組の充実を図ります。日頃から様々な形で本に触れる機会を設けることで、読書活動の習慣化に向けた指導を行います。</p>	<p>小・中学校全校に配置している学校図書館支援員を対象に、学校図書館支援員連絡会を年間3回開催、研修会を1回実施し、学校図書館の充実を図りました。また、学校図書館ボランティア対象にアニメーションの研修会を開催しました。現在、一斉読書や読み聞かせ等の取組から、読書活動の習慣化に向けた指導を行います。また、学校図書館ボランティア対象に研修会を行います。</p>	継続	学校図書館を活用した取組の充実を図るとともに、一斉読書や読み聞かせ等の取組から、読書活動の習慣化に向けた指導を行います。また、学校図書館ボランティア対象に研修会を行います。	継続	学校教育推進課

平成31年度 子ども読書活動推進の取組

No.	計画の体系における番号		計画ページ	計画の実現に向けた取組	平成30年度取組の実績と課題等	平成30年度取組区分	平成31年度取組内容等	平成31年度取組区分	担当課
9	(1)	②	P33	【障害のある子どもへの読書機会の提供】 保育所では、全体や小グループでの読み聞かせを実施する、1対1での読み聞かせに努めるなど個別の状況に応じて対応しています。 幼稚園では、個別の読み聞かせの時間や場の確保、一斉読み聞かせにおいては個々の子どもの持つ特性に応じた支援に努めています。	保育の場面や個の特性に寄り添い、どの子どもも絵本を楽しめるよう支援しながら、読み聞かせの実施をしました。また、個の特性に応じた絵本の選択にも配慮を行いました。	継続	全体での読み聞かせにおける必要な配慮とともに、個に応じて興味のある絵本を1対1で楽しむ対応を継続します。	継続	保育幼稚園総務課
10	(1)	②	P33	【障害のある子どもへの読書機会の提供】 司書教諭連絡会等において障害のある子どもたちの読書状況について情報交流を行い、効果的な指導方法について研修機会をつくります。	司書教諭連絡会を年間2回開催し、情報交流や研修の機会をつくりました。	継続	司書教諭連絡会等で、情報交流や研修の機会をつくります。	継続	学校教育推進課
11	(1)	②	P33	【障害のある子どもへの読書機会の提供】 障害児通所施設等で、療育の一環として子どもが興味を持った絵本の読み聞かせを行い、それぞれの子どもに応じた読書機会を提供します。	自由遊び時に、それぞれの子どもが集中できるようパーテーション等で区切り、興味のある絵本を選んで読み聞かせをしました。また、集団においても、四季折々の自然や行事などに合わせた絵本を読み聞かせたり、絵カードやペープサート等を活用する機会を設けました。	継続	子どもたちの発達課題とそれぞれの興味関心に合わせた絵本を選択し、子どもの集中しやすい環境を整えながら、絵本の読み聞かせを継続します。	継続	子育て支援課
12	(1)	③	P33	【「おはなし会」の充実】 図書館で年齢や季節に応じた「おはなし会」を実施します。 市立保育所・幼稚園・小・中学校において、おはなし会ボランティアによるおはなし会を実施します。	各図書館・分室でおはなし会を開催するとともに、市立の学校・園や、きらめきフェスタなど市内のイベント等におはなし会ボランティアを派遣しました。 派遣箇所：26か所 新たに分館2館でも、0～3歳までの乳幼児と保護者を対象にした「ちいさいこはなし会」を定期的に開催しました。 開催回数：48回 参加者数：751人	拡充	図書館や市立の学校・園、市内のイベント等でおはなし会を開催します。 不定期開催を含めて、全館で0～3歳までの乳幼児と保護者を対象にした「ちいさいこはなし会」を開催します。	継続	中央図書館
13	(1)	③	P34	【人形劇・工作等行事の開催】 図書館を利用したことのない子どもたちにも来館してもらえるよう、人形劇などの行事を行います。	各図書館で人形劇や工作等の行事を開催しました。 人形劇 開催回数：4回、参加者数：328人 工作等行事 開催回数：19回、参加者数：809人 水尾図書館では、未就園児と保護者を対象にしたプラバンづくりを開催しました。 庄栄図書館では、開館20周年記念行事として、児童室でキーワードを探す「としょかんたろうからのちょうせんじょう！」や、図書館の使い方やルールについての〇×クイズ「としょかんウルトラクイズ」を開催し、参加した子どもたちに特製プラバンやしおりをプレゼントしました。 参加者数：149人 市制施行70周年記念事業として「図書館こどもフェスティバル 本を開いて魔法の国へ！」を開催しました。 【関連行事】 ・魔法の本の特集コーナーを各図書館児童室に設置しました。 ・「おはなし会とミニブックトーク 魔法の国への招待状」を開催しました。 参加者数：202人 ・ミュージカル「オズの魔法使い」を生涯学習センターきらめきで上演しました。 参加者数：378人 ・魔法の本の感想などの展示コーナー「みんなで作る魔法の国」を、各図書館児童室に設置しました。自分の作品を見るために保護者とともに来館する子どもたちの姿も見られました。 参加者数：152人 市制施行70周年記念事業として「ブックトラベル」を開催しました。おはなし会やミニ絵本づくり、子どもから大人まで参加できる文学クイズを実施しました。 参加者数：おはなし会136人、ミニ絵本作り191人、文学クイズ392人 「図書館を使いこなそう講座」として図書館の上手な使い方が身に付く「としょかん脱出ゲーム」を開催しました。開催回数：3回 参加者数：106人	拡充	図書館の利用促進を図るため、各図書館で工作行事等を開催します。 「ブックトラベル」を開催し、おはなし会や子ども向けの工作、クイズ等を実施します。	縮小	中央図書館
14	(1)	④	P34	【川端康成文学館における読書機会の提供・充実】 小・中学生向け文学講座を開催し、読書機会の提供に努めます。	夏休み企画として、恒例になっているアニメ上映会、クイズ、プラバン作り、学芸員によるギャラリートークを行いました。毎年参加しているという児童や、家族で来館されることも多くありました。今年は同時期にノーベル賞受賞50周年記念特別展示もを行い、ノーベル賞を志した少年期についての理解も深めてもらえる内容にしました。	継続	今年は川端康成の生誕120年にあたることから、6月の生誕月記念企画展の会期を延長して行います。夏休み期間中は恒例の小中学生向け企画を行い、子どもたちが川端康成に興味を持ち読書に向かうきっかけとなるよう努めます。	継続	文化振興課
15	(1)	④	P34	【公民館における読書機会の提供・充実】 講座等の機会を活用して絵本の紹介や読み聞かせを行い、読書機会の拡大に努めます。	中央図書館との連携では、太田公民館等で絵本の読み聞かせ会を実施したほか、梅花女子大学（こども心理学部こども学科）と西公民館の連携で、子育てサロンにおいて、大学生による絵本の読み聞かせ会を実施しました。引き続き、市内大学等との連携を強化しながら読書機会の拡大に努める必要があります。	継続	図書館が実施するブックトラベル（戸外での読書会）の機会等に、公民館でもそのような取り組みができないか検討します。	継続	社会教育振興課

平成31年度 子ども読書活動推進の取組

No.	計画の体系 における番号	計画 ページ	計画の実現に向けた取組	平成30年度取組の実績と課題等	平成30年度 取組区分	平成31年度取組内容等	平成31年度 取組区分	担当課	
16	(1)	④	P34	【青少年センターにおける読書機会の提供・充実】 青少年センター主催事業において、読書機会の提供に努めます。	青少年センター主催事業の子どもセミナーの開催に合わせて、ボランティアによる紙芝居の読み聞かせを行いました。親子での参加や聞き手が読み手に挑戦することもあり、本に親しむことができました。	継続	引き続き、子どもセミナーの開催に合わせて、紙芝居の読み聞かせを行い親子で本に親しむ機会を提供することに努めます。	継続	社会教育振興課
17	(2)	①	P35	【子どもの本のコーナーの充実】 各施設に設置されている子どもの本のコーナーの充実や本に触れる機会の提供に努めます。	2階にあった絵本コーナーを1階のエントランス近くに移設し、より多くの方の目に留まり、本を手にとってもらいやすい環境の整備に努めました。また、学童保育課と連携して、7か所の学童保育室での読み聞かせを実施しました。	継続	来館者をはじめ多くの方に利用してもらえよう、引き続き、児童書・絵本の充実と周知に努めます。また、4月の学童支援員対象の会議でチラシを配付するなど、事業の周知に努め、より多くの子どもたちに読み聞かせができるよう努めます。	継続	人権・男女共生課
				南館3F「本のコーナー」に、おはなし会の案内を配架し、子どもが本に触れる機会を増やすよう努めました。	継続	市役所南館3階「本のコーナー」に、図書館のおはなし会の案内やカレンダーを配架し、子どもが本に触れる機会を増やせるように努めます。また、「本のコーナー」に置く絵本を増やすことを検討しています。	継続	こども政策課	
				子どもの興味関心のあるものや、保育者が精選した絵本を計画的に購入し、コーナーの充実を図りました。また、季節や子どもの遊びや生活等に合わせ、さらに興味関心が深まるよう掲示物の活用や絵本の配置などを工夫し、環境整備に努めました。	継続	子どもの興味関心のある絵本、年齢や季節に応じた絵本を精選するなど、コーナーの充実を図ります。	継続	保育幼稚園総務課	
				図書館の作成したブックリスト「おもしろい本みつけた！」を各学童保育室に配付し、教室予算で購入するように促しました。リスト掲載の本を購入した学童が1か所（4冊）ありました。「コベルコ地域社会貢献基本支援」により絵本の寄付をいただいた際には、各学童保育室から1冊ずつ前記リストから希望する絵本を選んでもらいました。人権・男女共生課の出前よみきかせ（WAMキッズおはなし会）を各学童保育室に周知し、7つの学童保育室から希望があり実施しました。	継続	引き続き、図書館の作成したブックリストを各学童保育室に案内し、教室予算で購入するように促します。また、人権・男女共生課と連携し、出前よみきかせを活用します。	継続	学童保育課	
				児童図書（リサイクルブック）約400冊を児童室のある4公民館に分散して設置しました。	継続	中央図書館と連携し、より多くの児童図書の設置に努めます。	継続	社会教育振興課	
				リサイクル図書50冊及び小学生向けの本を34冊購入し、図書コーナーの充実を図りました。	継続	引き続き、図書コーナーの充実を図り、利用者が読書に親しめる環境づくりに努めます。	継続	社会教育振興課	
				教育相談待合室における子どもの本の充実を図ってきました。更なる充実が必要です。	継続	教育相談待合室における子どもの本の充実を努めます。	継続	教育センター	
18	(2)	②	P36	【子どもの本の選定・収集の充実】 子どもたちが来なくなる学校図書館づくりのため、調べ学習・教科関連図書の収集に努め、蔵書の充実を図ります。	各学校において子どものリクエスト等も考慮しながら、蔵書の充実を図りました。物流サービスについては、物流回数15回で年間373回、10,548冊の活用がありました。（前年度は物流回数14回で年間387回、10,173冊）	継続	子どもからのリクエスト等も考慮しながら、蔵書の充実を図るとともに、物流サービスを活用し、他校や公共図書館の図書も活用します。「図書館を使った調べる学習コンクール 地域コンクール」を開催し、調べ学習を通じて多様な蔵書の活用を図ります。	継続	学校教育推進課
19	(2)	②	P36	【学校図書館運営体制の充実】 学校図書館支援員・司書教諭・学校図書館ボランティア等が連携し、学校図書館の利用促進を図る取組を進めます。	学校図書館支援員・司書教諭・学校図書館ボランティア等が連携するとともに、市立図書館職員による学校図書館の見学・アドバイスを行いました。また、学校図書館支援員連絡会において、中央図書館及び各分館の児童書担当者が参加し、アドバイス等を行いました。	継続	学校図書館支援員・司書教諭・学校図書館ボランティア等が連携するとともに、市立図書館職員による研修や学校図書館の見学・アドバイスも行い、学校図書館の運営体制の充実を図る取組を進めます。	継続	学校教育推進課
20	(2)	③	P37	【子どもの本の選定・収集の充実】 計画的に図書の購入を行い、資料の充実を図ります。 中学・高校生を対象とした一般書についても資料の充実を図ります。	新しい本や、メディアで紹介され話題になった本の情報を収集し、資料の充実を図りました。利用の多い本の買い直しを積極的に行いました。一般室では、中学・高校生に人気のケータイ小説を集めた棚を作りました。利用が増加し、人気のコーナーになりました。	継続	年齢に応じた本その他、児童書と一般書の区別にとらわれず、幅広く本を収集し、資料の充実を図ります。児童室と一般室が連携し、中学・高校生向けの本の充実を図ります。	継続	中央図書館
21	(2)	③	P38	【子ども向け広報の充実】 ホームページやちらしなどの多様な媒体により、利用案内及び行事案内を充実させます。	ちらしやポスターによる広報を行うとともに、図書館ホームページを活用し、行事のお知らせや、本の紹介などを行いました。工作行事やおはなし会の様子を、ホームページ内の「最近のできごと」で紹介しました。	継続	ちらしやポスターによる広報を行うとともに、図書館ホームページを活用し、行事のお知らせや、本の紹介などを行います。SNSを使ったPR活動にも努めます。	継続	中央図書館
22	(2)	③	P38	【すべての子どもが利用しやすい環境づくり】 障害のある子どもや、日本語を母国語としない子どもも図書館を利用しやすくなるよう、環境の整備に努めます。	外国語で書かれた児童書について収集や整理体制についてマニュアルを作成し、中国語に翻訳された日本の絵本を、新たに9点を購入しました。購入した本はリストにし、ファイルして書架に設置するとともに、ホームページにも公開しました。障害のある人や日本語を母国語としない人など、読むことが苦手な人のために、わかりやすい言葉と図で書かれた「LL版利用案内」を作成し、各図書館に設置しました。子ども向けティザー図書の利用はありませんでした。市内施設と連携して、より広く周知し、利用につなげることが課題です。	継続	引き続き、外国語で書かれた子ども向けの本を収集するとともに、必要に応じて大阪府立図書館や他市の図書館で所蔵している外国語の本についても、情報提供を行います。子ども向けティザー図書の周知・利用促進に努めます。	継続	中央図書館

平成31年度 子ども読書活動推進の取組

No.	計画の体系 における番号	計画 ページ	計画の実現に向けた取組	平成30年度取組の実績と課題等	平成30年度 取組区分	平成31年度取組内容等	平成31年度 取組区分	担当課
【基本方針Ⅱ】 学校・地域等と市立図書館との連携による推進体制の整備								
23	(1)	①	P39	【保育所・幼稚園への団体貸出の利用促進】 中央図書館が保育所・幼稚園の読み聞かせ等に利用する本の団体貸出を実施します。	図書館ホームページや広報いばらきの他、園長会でも周知を行い、団体貸出の利用促進に努めました。 貸出数：2園 578冊	継続	図書館ホームページや広報いばらきの他、園長会でも周知を行い、団体貸出の利用促進に努めます。	継続 中央図書館
24	(1)	①	P39	【見学の受け入れ】 中央図書館と4つの分館で、小学校・保育所・幼稚園からの見学の受入をし、来館した子どもたちに利用案内、館内見学を実施します。資料を豊富に揃えて、読書や調べ物に利用できることなどを伝えて利用促進を図ります。	中央図書館及び分館で、図書館見学を実施しました。	継続	小学校・保育所・幼稚園から図書館への見学を実施します。図書館を紹介し、利用促進につなげます。	継続 学校教育推進課
					小学校や幼稚園からの図書館見学を受け入れ、利用カードの作成、館内の見学、図書の出借等を行いました。 受入数：小学校 23校 2,032人、幼稚園 2園 145人	継続	各図書館で、図書館見学の受け入れを実施します。図書館に親しんでもらう機会とし、利用促進につなげます。	継続 中央図書館
25	(1)	①	P39	【職場体験の受け入れ】 中央図書館と4つの分館で、中学校からの生徒を受け入れ、貸出・返却・書架整理等の業務等を体験してもらい、市立図書館を身近に感じ、親しんでもらう機会にします。	中央図書館及び分館で、職場体験を実施しました。	継続	中学校から図書館への職場体験を実施します、図書館に親しむ機会にします。	継続 学校教育推進課
					中学生の職場体験を受け入れ、カウンターや事務所内の作業など、図書館業務の体験を行いました。参加した中学生が選んだおすすめの本と紹介文を図書館ホームページ内「中学生のおすすめ本」のページに掲載しました。 受入数：12校 26回 56人	継続	各図書館とも中学生の職場体験を受け入れ、図書館に親しんでもらう機会とします。	継続 中央図書館
26	(1)	①	P40	【市立図書館利用の促進】 読書活動においても小・中学校間の連携を進め、研修会を持ち、市立図書館の利用の周知を行い、学校と市立図書館との連携を深めます。	学校と市立図書館とで連携できる「学校と公共図書館ねっとわーくプラン」を、校長会、司書教諭等連絡会、学校図書館支援員連絡会にて周知し、活用しました。 「茨木市 図書館を使った調べる学習コンクール」を開催し、542点の応募があり、うち、11点を全国コンクールへ出展しました。	拡充	読書活動においても小・中学校間の連携を進め、研修会を持ち、市立図書館の利用の周知を行い、学校と市立図書館との連携を深めます。学校と市立図書館とで連携できることについての周知を様々な場面で行います。 「茨木市図書館を使った調べる学習コンクール」を開催し、全国コンクールにも応募します。	継続 学校教育推進課
					「学校と公共図書館ねっとわーくプラン」に基づき、学校図書館支援員連絡会に図書館職員が出席しました。 研修会等の開催にあたっては、会場の設定や、資料の提供をするなど、協力を行いました。 市内を5つのエリアに分け、各図書館の職員が近隣の学校図書館を訪問し、団体貸出や利用の多い本について情報提供を行いました。 学校と連携し「第1回茨木市図書館を使った調べる学習コンクール」を開催しました。入賞作品のレプリカを中央図書館で展示しました。	継続	図書館職員が、学校図書館支援員連絡会や司書教諭連絡会に参加し、図書館の利用について周知します。 近隣の学校図書館を訪問して情報提供を行い、学校と市立図書館との連携を深めます。 学校と連携し、「茨木市図書館を使った調べる学習コンクール」を開催します。	継続 中央図書館
27	(1)	②	P40	【学校への団体貸出の利用促進】 学校の調べ学習等に利用する本の団体貸出を実施します。物流システムを活用し、利便性を高めます。	団体貸出の手順を学校に周知し、その結果、中央図書館と小・中学校を巡回する物流サービスが、373回利用されました。（前年度は387回）	継続	作成されたマニュアルを活用し、団体貸出の充実を図ります。	継続 学校教育推進課
					校長会や学校図書館支援員連絡会等で団体貸出の利用について周知しました。 貸出数：25校 1,418冊	継続	校長会等で団体貸出について周知します。 必要に応じて、本市以外の図書館の本についても、情報提供を行います。	継続 中央図書館
28	(1)	②	P40	【市立図書館の司書による情報提供】 市立図書館の司書が、学校図書館教諭及び学校図書館支援員に情報提供を行い、市立図書館を活用した取組を支援します。	「学校と公共図書館ねっとわーくプラン」に基づき、学校図書館支援員連絡会に図書館職員が出席し、本の並べ方や修理方法など図書館運営についての情報提供を行いました。 図書館職員が学校図書館を訪問し、学校ごとの相談に応じました。 訪問数：小学校17校、中学校4校 図書館職員から学校図書館運営に関わる教職員に向けた情報提供のための「ねっとわーくだより」を発行しました。	拡充	「学校と公共図書館ねっとわーくプラン」に基づき、司書教諭や学校図書館支援員の連絡会に図書館職員が出席し連携に努めます。図書館職員が小・中学校の図書館を訪問し情報提供を行います。年2回「ねっとわーくだより」を発行し、図書館職員から学校図書館運営に関わる教職員に向けた情報提供を行います。	継続 中央図書館
29	(2)	①	P41	【生涯学習出前講座の実施】 市立図書館の司書が、読み聞かせについての講座や図書の修理実演、市立図書館の利用案内等を行います。	図書館職員が読み聞かせについての講座や図書の修理実演、図書館利用案内等を行う出前講座メニューの情報提供を行いました。実施回数：読み聞かせについての講座1回	継続	子どもの読書に関わる市民の依頼を受けて、図書館職員が読み聞かせについての講座や図書の修理実演、図書館利用案内等を行います。	継続 中央図書館
30	(2)	①	P41	【ブックリストの配付・活用】 児童書紹介ブックリストを配付し、図書館を利用したことのない子どもや保護者にも、読書活動の大切さをお知らせします。	ブックリスト「おもしろい本みつたえ」を年2回作成し、保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の児童・生徒に配付しました。また、ホームページにも掲載しました。紹介された図書は利用が増加し、予約の申し込みも増加しました。	継続	ブックリスト「おもしろい本みつたえ」を作成し、保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の児童・生徒に配付します。また、ホームページにも掲載します。	継続 中央図書館
31	(2)	②	P41	【地域団体・ボランティアのネットワークづくり】 市立図書館が、子育てサークル等、子どもの読書にかかわる地域団体・ボランティア間の情報交換・交流を図り、連携・協働して子どもの読書活動を推進します。	市内で読み聞かせ等の活動をするボランティアについて、活動状況やメンバーの募集状況等の情報収集を行いました。	継続	市内で読み聞かせ等の活動をするボランティアの情報を収集し、連携に努めます。	継続 中央図書館
32	(3)	—	P42	【児童サービス担当司書の養成】 児童サービスに携わる司書を養成するとともに、研修の充実を図り、子どもの読書活動を推進する取組を行います。	大阪府立中央図書館での研修会や、児童サービス担当者連絡会等に出席し、職員のスキルアップを図るとともに、他市の図書館職員との情報交換に努めました。	継続	大阪府立中央図書館での研修会や、児童サービス担当者連絡会等に出席し、職員のスキルアップを図るとともに、他市の図書館職員との情報交換に努めます。	継続 中央図書館
33	(3)	—	P42	【司書教諭・学校図書館支援員・学校図書館ボランティアの知識技能の向上】 司書教諭・学校図書館支援員・学校図書館ボランティアの知識技能の向上のため、定期的に研修を行い、情報交換を行います。	司書教諭連絡会を2回、学校図書館支援員連絡会を3回、図書館支援員およびボランティア研修会を1回行うとともに、学校図書館支援員連絡会では、中央図書館の職員によるアドバイスコーナーも設けました。	継続	定期的に連絡会・研修会を開催し、知識技能の向上を図ります。 また、学校図書館支援員連絡会で中央図書館の職員による研修を実施します。	継続 学校教育推進課
34	(3)	—	P42	【保育士・幼稚園教諭の読み聞かせ技術の向上】 園内における読み聞かせの時間をさらに充実したものにすため、保育士・幼稚園教諭の技術向上を図る研修を行います。	所・園内研修における職員間での意見交換や情報交流を通して、読み聞かせの技術向上を図るとともに、絵本の選択肢を広げられるよう努めました。	継続	今後も園内研修を通して職員間で意見交流や情報交流を行うことで、所・園内における読み聞かせをさらに充実したものにしていきます。また、保育士、幼稚園教諭は研修等に積極的に参加し、読み聞かせや子どもの目線にあった絵本の選択肢が広げられるよう技術の向上をめざします。	継続 保育幼稚園総務課
35	(3)	—	P42	【おはなし会ボランティアの技術向上】 ボランティアの講習会及び技術向上のための研修会を定期的に実施します。	おはなし会ボランティアを対象にした研修会「子どもと絵本の出会う場所で」を実施しました。 参加者数：55人 大阪府立図書館で開催される研修会について情報提供を行いました。	継続	ボランティアの講習会及び技術向上のための研修会を定期的に実施します。 茨木市立図書館以外の図書館等で開催される講座について情報提供を行います。	継続 中央図書館

平成31年度 子ども読書活動推進の取組

No.	計画の体系 における番号	計画 ページ	計画の実現に向けた取組	平成30年度取組の実績と課題等	平成30年度 取組区分	平成31年度取組内容等	平成31年度 取組区分	担当課	
【基本方針Ⅲ】 子どもの読書活動への理解や関心の普及・啓発									
36	(1)	—	P43	【「子ども読書の日」の普及】 「子ども読書の日」及び「こどもの読書週間」に合わせて行事等を開催し、読書活動の推進を図ります。	「子ども読書の日」及び「こどもの読書週間」に合わせて、おはなし会スペシャルや子どもの本交換会を開催しました。水尾図書館では「おすすめの本の木」を開催しました。 おはなし会スペシャル 参加者数：41人（中央図書館） 子どもの本交換会 開催回数：5回、参加者数：120人（中央図書館4回、穂積図書館1回） おすすめの本の木 参加者数：52人（水尾図書館）	継続	「子ども読書の日」及び「こどもの読書週間」に合わせて、おはなし会等の行事を開催します。	継続	中央図書館
37	(1)	—	P43	【講習会・読み聞かせ会の開催】 幼稚園では、保護者を対象に講習会や読み聞かせ会などを園行事の中に組み込みます。	引き続き、図書館ならびに地域ボランティアの協力を得て、実施します。	継続	図書館ならびに地域ボランティアの協力を得て、実施します。	継続	保育幼稚園総務課
38	(1)	—	P43	【講演会・講座の開催】 子どもの読書に関する講演会や講座を開催し、子どもの読書活動の意義について、啓発を図ります。	親子で参加できる読み聞かせ講座、読書感想文の書き方講座、大人を対象にした子どもの本の読書講座を、各図書館で開催しました。 読み聞かせ講座 開催回数：2回、参加者数：85人 子どもの本の読書講座 開催回数：3回、参加者数：100人 読書感想文の書き方講座 開催回数：2回、参加者数：104人	継続	親子で参加できる読み聞かせ講座と、大人を対象にした子どもの本の読書講座を、各図書館で開催します。好評だった親子で参加できる読書感想文の書き方講座は、回数を増やし、分館4館で開催します。	拡充	中央図書館
				読書啓発講習会を1公民館（安威）で実施。読み聞かせ講座を1館（見山）・読み聞かせ講習会を9館（中津、玉島、西、福井、太田、安威、三島、穂積、東奈良）で実施しました。※東奈良は大人向け	継続	引き続き、子ども読書活動の意義を啓発できるよう働きかけを行います。	継続	社会教育振興課	
				①きらめきフェスタにおいて、キッズルームにて「おはなしかいとわらべうた」また交流コーナーにて「絵本で世界と出会う」の実施しました。「絵本で世界と出会う」では、中央図書館の協力のもと、世界の絵本を集め、親子で読んでもらえるよう配置、在住外国人の皆さんによるその国の言葉での絵本の読み聞かせなどを実施しました。②1階交流コーナーの「乳幼児及び小学生向け書籍コーナー」を継続し、読書が推進されるように努めています。	継続	おはなし会については検討中です。1階交流コーナーの「乳幼児及び小学生向け書籍コーナー」を継続し、読書が推進されるように努めます。	継続	文化振興課	
39	(1)	—	P44	【本市にゆかりのある作家と作品の紹介・普及】 川端康成文学館、富士正晴記念館、宮本輝ミュージアムの関連施設が連携して、子どもたちにわかりやすい情報提供に努めます。	各施設へのチラシ配架依頼など行いました。	継続	引き続き、パンフレットやイベントチラシの設置など、関連施設と連携し周知に努めます。	継続	文化振興課
				各館でイベント等のチラシを設置し、周知に努めました。 富士正晴記念館は、国立民族学博物館で開催された北大阪ミュージアムメッセに展示ブースを出展し、記念館のPRを行いました。富士正晴にちなんだ子ども向けのクイズやぬりえも実施しました。参加者数：147人 移動図書館ともしび号は、ブックトラベルにおいて、子どもから大人まで参加できる、文学クイズ（宮本輝、川端康成、富士正晴について出題）を実施しました。参加者数：392人	拡充	各館でイベント等のチラシを設置し、周知に努めます。 富士正晴記念館は、国立民族学博物館で開催される北大阪ミュージアムメッセに展示ブースを出展し、記念館のPRを行います。富士正晴にちなんだ子ども向けのクイズやぬりえも実施します。 移動図書館ともしび号は、ブックトラベルにおいて、子どもから大人まで参加できる、文学クイズを実施します。	継続	中央図書館	
40	(2)	—	P44	【ブックリストの作成・配付】 乳幼児から中学生までの年齢に応じたおすすめの本を紹介するブックリストを引き続き作成・配付します。 今後対象を高校生まで広げたブックリストについても作成し、中学・高校生に対する情報提供の充実を図ります。	ブックリスト「おもしろい本みつたえ」の作成・配付を行いました。 発行部数：80,000部 中学・高校生向けの図書選定については、一般室担当職員も参加し、中学・高校生の興味に沿った選書に努めました。	継続	ブックリスト「おもしろい本みつたえ」の作成・配付を行います。 中学・高校生向けの図書選定については、一般室担当職員も参加し、中学・高校生の興味に沿った選書に努めます。	継続	中央図書館
				講座などさまざまな機会にブックリストの配布や、本の紹介を行い、本の貸出につながりました。	継続	今後も、さまざまな機会をとらえて、ブックリストの配布や本の紹介を行い、本に触れていただく機会の拡充に努めます。	継続	人権・男女共生課	
				親子講座でのブックリスト配付や本の紹介により、行事参加者に図書コーナーの存在や貸出ができることを周知し、図書利用カードの新規作成につながりました。	継続	親子講座でのブックリスト配付により、行事参加者に図書コーナーの存在や貸出ができることを周知し、図書利用カードの新規作成につなげるよう努めます。	継続	人権・男女共生課	
41	(2)	—	P45	【絵本だよりの作成・配付】 絵本の内容紹介や、子どもたちに伝えたいことを盛り込んだ絵本だよりを発行し、保護者への啓発に取り組みます。	年齢に応じたお勧め絵本の紹介や絵本だよりの発行を通じて、図書選択の幅を広げ、さらに関心や楽しみが深まるよう保護者への情報提供に努めました。	継続	ブックリストの活用や文書の発行、掲示物の工夫などを通して保護者へ読み聞かせの大切さを伝えていきます。また、子どもの興味や関心が高い絵本等の情報提供を引き続き実施します。	継続	保育幼稚園総務課